

## 思春期におけるPWSの生徒への理解と支援 研修会 感想（職員分）

- ・ 実体験をふまえたお話にとっても感銘を受けました。加えてPWSの細かい行動特徴の分析がなされた記述もあり、本校生徒の様子と照らし合わせてみるとすごくよく分かるお話でした。
- ・ 体験からのお話を聞くことができありがたかったです。
- ・ 庄司さんの息子さんが、一人で散歩させるまでに1年半かかった、一つのことを覚えさせるためにそれぐらいの年月がかかることは、こちら側も承知の上で教えなければならないと頭を叩かれた思いでした。自分の興味のあるもの、ことへの記憶はすばらしいので、どうしても1回言えば分かるだろうと思ってしまっていたところだが、あまりあせらずに見守ってほしいと思いました。
- ・ 今回は、本校の生徒たちとダブらせてお話を伺った。家庭でのご苦勞もまたすごいなと思う。命に関わることなんだから、私たち見守る側も命がけで守ってあげなければならない。もっともこの病気の理解と日本のネットワーク作りがうまくいくことを願います。
- ・ PWSについての詳しいお話を聞くのは初めてでしたので、大変参考になりました。厳しい状況の中、ご本人もご家族もがんばっていらっしゃる事が伝わってきました。
- ・ 本人がこんなに不安やつらい思いを抱えていたということを改めて認識することができました。そして、否定ではなく、きちんと繰り返し励ましつづつ伝え続ける我々が努力すべき方向がとても明確になった気がしました。そうはいつでも、毎日が困惑、迷い、疑問の毎日です。また、みんなで話し合いながら、そして、時にはまた、庄司さんに来ていただいて教えていただきながらできる努力をしていきたいと感じました。
- ・ 最新の情報からご自身の体験まで分かりやすく教えていただきありがたかったです。PWS生の支援のあり方も教えていただきましたが、どの障害の子にも基本的な接し方は同じであること、人としてその子の気持ちや思いに添って支援していくことの大切さを教えていただきました。
- ・ 具体的なお話が聞けてよかった。お話の中で障害を持っている子どもたちの共通の対応の仕方を話していただき再確認させていただきました。
- ・ 今年度からPWSの子が転入してきました。担当している女の子（交通事故による体幹機能障害）に内緒話を聞かれないようにそーっと、「〇ちゃんに内緒だから」と小声で耳打ちしてくれる彼女が大好きです。対応の難しさは、日々感じています。今回具体的なお話をお聞きすることができ、彼女のよさを大事にしながらか正しく支援できるようにしたいと思いました。
- ・ 6月の転入以来、新しい集団への適応が少しずつ伸びてきているなあと感じていますが、「一生、保護と管理が必要です」のお話日々の生活が重なり、改めて課題の大きさを痛感しました。彼女のことを考えれば考えるほど、お母さんの気持ちに近づいてしまって、よさをわかってはいても十分認め、ほめていくことができなくなっていくのが悩みです。庄司さんご夫妻のように笑顔で向き合えるようになりたいです。
- ・ 日々の生活の中で、対応の難しさを感じながらも、嬉しそうな顔でいろんなことを話してくれる姿や優しい面も見せてくれる姿がたくさんあることをこちらでも嬉しく思います。どの子もそうだと思いますが、支援する側に“~のようにすればよい”というものは何もないのだなと感じました。その子と真剣に向き合っていく中で悩みながら少しずつよい方向に向かいたいと思います。子どもを信じてととても大事なんだと改めて感じました。
- ・ 個別の相談ありがとうございました。